

令和7年10月26日(日)

開場 11:30 開演 12:00

〔会場〕
アマノ芸術創造センター名古屋
(名古屋市芸術創造センター)

入場無料(招待券が必要となります)

〔問い合わせ〕

蟹江尾八会本部・各支部

TEL・FAX

052-853-0261

第三十四回公演

民謡と端唄

蟹江尾八会

民謡は旅人

〔特別出演〕

●唄

森 信佐句

剣持 雄介

樺沢 壹良鶴

浅野 裕子

●舞踊

内田 るり千鶴

内田 千鶴静

●音楽

野村 祐子

正絃 社会奏団

望月 左登貴美

沢田 順二

浅野 熹世智

●旅人(司会)

小島 範子



第33回蟹江尾八会(2024年10月撮影)

●企画/第34回公演実行委員会 ●構成・演出/蟹江尾八 ●音響/ザ・イヤーズ
●舞台・照明/コスモ コンサルタント ●舞台監督/大内啓之 ●監修/蟹江尾八 ●主催/蟹江尾八会
●後援/愛知県・名古屋市・愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・名古屋市文化振興事業団
日本郷土民謡協会東海地区連合会・中日新聞社・愛知芸術文化協会・ANET・ナゴヤ劇場ジャーナル

e-mail kanie@bihachi.jp

HP <https://bihachi.jp>



オリジナル「南の島から」

唄／蟹江しほ・蟹江礼子

1,500円(+税)



遠く離れた南の島から日本民謡を…

心安らぐハーモニーの魅力テーマにした3曲を収録しています。

【ホレホレ節】

【ホレホレ】はハワイ語で「枯れた砂糖キビの葉をむしり取ること」。移民の日本人達の日常生活や労働の苦しさを、故郷広島「広島節」の節回しにのせて歌った作業唄。

【ていんさぐぬ花】

わらべ唄ながら大衆性があり愛唱される沖縄県の代表的な教訓の唄。「ていんさぐ」とは鳳仙花のことで、花は「うりずん」と呼ばれ、沖縄で最も過ごしやすい季節に咲く花。

【芭蕉布】

ハワイ三世の歌手「クララ新川」の唄として企画された曲。歌詞が中々できなく頓挫していたが、後に地元中学教師の「吉川安一」が詞を付けた。

愛知県民謡集

— 三味線譜と解説 —

著者・発行者：蟹江尾八

愛知県各地域に伝わる民謡を、様々な資料や音源をもとに長年書き溜めた三味線譜(歌詞付き)を書き下ろし。曲にまつわる歴史や背景などの解説も付いた合計全100曲(内46曲を蟹江尾八が発掘・採譜、作曲・編曲)を掲載。

各定価：5,000円(+税)



<第一巻>
(53曲)



<第二巻>
(47曲)



<第一巻>
(50曲)



<第二巻>
(47曲)

端唄集

— 三味線譜と解説 —

【著者・発行者】
蟹江尾八

各定価：3,000円(+税)

【発売元】

蟹江尾八音楽事務所

<https://www.bihachi.jp> e-mail: kanie@bihachi.jp

TEL / FAX: 052-853-0261

※ご注文後、郵便発送で納品いたします。受取後郵便振替書にてお支払い下さい。

